

# Try & Read!

晋代中学校  
夏休み号

平成23年7月25日

発行：柳澤

本を読むことが、読書なのではありません。

自分の心のなかに失いたくない言葉の蓄え場所をつくりだすのが、読書です。

## この夏、この一冊！

先生方におすすめの本を紹介していただきました。中学生時代に読んだ本、最近読んで感動した本、教科内容に関連する本など推薦理由は様々だと思います。この夏、どんな本を読もうか迷ったときは参考にしてみましょう。

## 先生おすすめの本



武者小路実篤

### ◆ 小橋正嗣 校長先生

『**勇気を燃やす言葉**』 武者小路実篤 (むしゅのこうじ さねあつ)

言い時に、落ち込んだところから、立ち直らせてくれた本でした。  
(今は発刊されているかわかりません。)

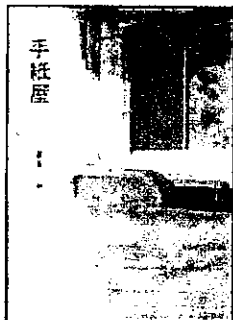


夏川草介

### ◆ 山下彰 副校長先生

『**神様のカルテ**』 夏川草介 (なつかわ そうすけ) ◎村図書館在り

地域医療に携わる青年医師が過酷な労働条件の中でも患者のことを考えて一生懸命に治療に励む小説です。主人公の周囲にいる人達も心あたたかく、やさしさが伝わってきます。今年の8月に映画公開予定です。



手紙屋

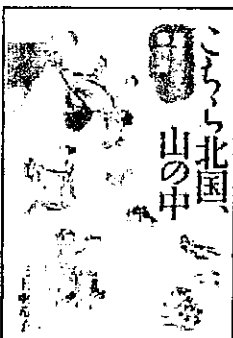
### ◆ 熊坂伸子 教育長

『**手紙屋**』 喜多川泰 (きたがわ やすし)

サブタイトルに「～僕の就職活動を変えた十通の手紙～」とあります。働くと言うことの意味。人生に夢を持つこと、夢を持ち続けることの意味が、じんわり伝わってくる1冊です。

『**手紙屋・蛍雪篇**』 喜多川泰 (きたがわ やすし)

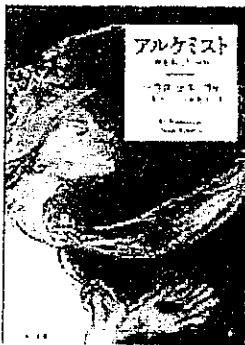
こちらも一緒に読むことをおすすめします(単独でも十分面白いですが)。こちらのサブタイトルは「～私の受験勉強を変えた十通の手紙～」です。何のために勉強するんだろう?何のために大学に行くんだろう?と進路に悩む人は是非一読を。勉強することの意味と面白さが分かります。



北国  
山の中

『**農家の嫁の事件簿**』 三上亜希子 (みかみ あきこ)

郡会畜ちの大学院生が、岩泉町釜津田の農家に嫁ぎ、3世代の家族とのてんやわんや、ご近所さんたちとのほのほの毎日を、イラストつきで紹介するエッセイ集。しみじみしたり、うふふと笑ったりして、読み終わると釜津田に行ってみたくくなります。



◆ グレグ・ホフマン先生 … 英語

『アルケミスト 夢を旅した少年』 The Alchemist

著/Paulo Coelho パウロー・コエーリョ

夢を追求している時は、心は決して傷つかない。夢を旅した少年サンチャゴの物語。世界22カ国で読まれているベストセラー。

『シャーロック・ホームズの冒険』

The adventures of Sherlock Holmes

著/Sir Arthur Conan Doyle サー・アーサー・コナン・ドイル

シャーロック・ホームズ短編集の中でも、著名な作品が多数収録されている一冊です。「まだらの紐」や「ボヘミアの醜聞」といった作品は、映画でも知られている名作で、何度読んでも楽しめます。



◆ 高坂希 先生…音楽

『獣の奏者』 上橋菜穂子 (うえはし なほこ)

ファンタジーなんですけど、原作者が文化人数学者だけあって、リアルですごく共感できます。TVシリーズにもなっています。

NHK教育(火)19:25~放映中

『この世でいちばん大事なカネの話』 西原理恵子 (さいばら みえこ)

働くこと、自分の能力と、世の中のしくみと、折り合いをどうつけてきたのか、人気マンガ家の本音が読めます。



◆ 中森拓哉 先生…理科

『銃・病原菌・鉄(上下)』 J・ダイヤモンド (平凡社)

「どうして世界には文明や発展に差があるのか」を解説した本、世界の見方がかわります。

『カラシニコフ』 松本仁一 (まつもと じんいち) (朝日新聞社)

「なぜ戦争がなくなるのか」「子供兵が増える理由」をジャーナリストの目から冷静に描いた本。新聞記者の見かたが変わります。

『大図典 view』 (講談社)

とにかく何でも載っている本、10年読んでも常に発見のある本(図書館にあります)



◆ 山本克哉 先生…数学

『銀河英雄伝説』 田中秀樹 (たなか よしき)

中学生のころ読んだ日本のSF史に名を刻む名作。アニメやマンガにもなっていますが、原作が一番。三国志が好きな人はハマる可能性大。

『博士の愛した数式』 小川洋子 (おがわ ようこ)

人と人との心のふれあいを美しい数式と共に描いた作品。2006年映画化された。数学が苦手な人も安心して楽しめますよ。



◆ 古舘菜穂美 先生…スクールカウンセラー

『Yの悲劇』 エラリー・クイーン

中一の頃に読んだ初めての推理小説で、以後推理小説にとりつかれてしまいました。同著者の国名シリーズ等、数十冊を読破。おもしろいヨ!

『ダビンチコード』 ダン・ブラウン

“キリストの子孫が存在する!”という謎解き小説。発刊にあたり世界中で話題になった作品なので、興味だけで買って読んだらハマってしまいました。同シリーズの3作目を現在読んでいる最中です!

『レイチェルと魔法の匂い』 クリフ・マクニッシュ

子供たちに読みきかせて、一番か二番に人気でした。